

News Release

2016 年 7 月 15 日

曙ブレーキ工業、メンテナンス・レジリエンスTOKYO2016 インフラ検査・維持管理展に出展

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長:信元久隆 本店:東京都中央区 本社:埼玉県羽生市)は、メンテナンス・レジリエンス TOKYO2016 インフラ検査・維持管理展に出展します。akebono ブースでは、センサー技術を活用した土木・インフラ向け計測機器を展示いたします。

【メンテナンス・レジリエンス TOKYO2016 インフラ検査・維持管理展 出展概要】

- 一般公開: 2016 年 7 月 20 日(水)～7 月 22 日(金)
会場: 東京ビッグサイト(東京国際展示場)
展示場所: 東館 1・2 ホール
主な展示内容: ①IT 傾斜計(重力加速度を測定することにより地表の変位や角度を計測するシステム)
②ジューテンダー(コンクリート充填検知装置)
③インフラ保全用センサーコンセプト(これまで別々に測定していた振動と傾斜をひとつの製品で測定できるようにしたコンセプト製品。土木事業、鉄道、船舶など様々な分野での活用を検討しています。)

メンテナンス・レジリエンスとは、生産設備や道路・橋梁・トンネルなどの社会インフラを維持管理して保全する「メンテナンス」と、「レジリエンス(リスク対応能力)」を組み合わせた言葉で、トラブル・リスクなどにあらかじめ備えて対応することを意味します。メンテナンス・レジリエンス TOKYO2016 では、「プラントメンテナンスショー」、「労働安全衛生展」、「インフラ検査・維持管理展」、「事前防災・減災対策推進展」、「防犯・セキュリティ対策展」、「建設資材展」の6つの展示会が開催され、「メンテナンス」「レジリエンス」に関する最新の製品・技術・サービスが展示されます。

曙ブレーキ工業では高い摩擦材技術とセンサー技術を生かしてインフラ&モビリティの発展に貢献する技術を今後も開発していきます。